

台北

|          |   |   |  |  |   |  |   |   |
|----------|---|---|--|--|---|--|---|---|
| eラーニング教材 | まるごとA2-2コース                               | エリンサイト、まるごと+初級A1  | アニメ・マンガの日本語A1(あいさつ)自習コース   | KANJI Memory Hint  | まるごとA1-2<br>かつどうL11   | まるごと+ 生活と文化<br>日本人の名前の呼び方  | アニメ・マンガの日本語(自己紹介)   | ひろがる  |
| 対象者      | 大学、年配者                                    | 初級  | 初級日本語の学生   | 個人授業   | 大学の日本語学科、第2外国語の会話授業   | 小学生、中学生、大学生とバラ   | 高校の第2外国語  | 高校生、第2外国語、ほぼ初心者   |
| 学習目標     | て形  | 日本に行って注文ができる  | キャラクターの日本語あいさつ   | カタカナ、漢字が読めるように   | ひきつける会話ができる   | A1、呼び方の違いに気づく  | 役割語が理解できる。  | ①日本文化の七夕がわかる<br>②台湾と日本の七夕の違いに気づく  |
| 学習の流れ    | A2-2のピクニックのところの動画や練習を使って、て形を導入したり、練習したりする | ①動画を見て重要表現を観察する。(例;かしまりました)<br>②意味の確認として、訳を中国語で考える<br>③食べ物のことばのリスト、ハンバーガを3つ、4つ、助数詞などを確認し、練習する。<br>④「まるごと」だと習った表現しか動画に出てこないの、「お持ち帰りですか？」など実際に旅行中耳にする表現を補足する。 | ①キャラクターの日本語挨拶で、お嬢様や男の子の表現の違いを聞く。<br>②人によって挨拶が違うことを伝える。<br>③グループでいっしょに練習する。<br>④宿題としてグループで次回発表することを伝える。<br>⑤放課後、家などでキャラクターを選んで練習してくる。<br>⑥学校の授業で発表する。<br>⑦どのキャラを選ぶグループが多いかなどを、ゲームの人気ランキングのように記録する(学習者のニーズもわかる)。 | 一人一人ダウンロードさせて練習する<br>アプリに書き順があるといひ(→「漢字ことば」のページにはあることを伝えた) | ①自分の趣味について考え、それを日本語でどう言えるか考える。<br>②文型から「私は～が好きです」まで練習しておく<br>③自分の趣味について、お見合いパーティでどういうふうに話したら相手をひきつけられるか考え、会話する。 | ①日本人の名前の呼び方について、動画を見たりして、呼び方の違いなどに気づく。<br>＜探しながらのつぶやき共有＞<br>・中国語の簡体字に拒否反応がある人も、小学生だとなれていないし、英語だとわからぬい。<br>・解説は置いておいて、動画にすぐ入るとわかりやすい。<br>・教室の中で使って紹介しても、それで終わってしまうのが悩み<br>・PCのほうがよく見られるけれど..<br>・自分の家でスムーズに見ら | ①教材を使いながら導入する<br>②挨拶、自分の名前などがぐちゃぐちゃになっているシートを並べ替える(キャラクターごとに会話になるように)<br>③お嬢様、武士など別の少し変なキャラクターは入っているプリントを作って、自己紹介する | ①授業前に学生に台湾と日本の文化の違いが話せるように問いかける。<br>②皆さんは7月7日に何をしますか。日本の7月7日に何をしますか。など、知っていることを学生から話させて導入。<br>③サイトの記事や写真を通して、日本では七夕に何をするのか、文化内容を確認する。<br>④関連用語を紹介して練習する。<br>⑤学生が台湾の七夕で何をしますか(違い)について紹介する。 |

高雄

|          |   |   |  |  |  |   |  |   |
|----------|---|---|--|--|--|---|--|---|
| eラーニング教材 | アニメ・マンガA2(学校場面)自習コース  | アニメ・マンガの日本語サイト  | ひらがな自習コース  | まるごと+入門(A1)  | ひろがる、まるごとA1-1、アプリ、など   | まるごとA1-2  | ひらがな・カタカナコース                             | 50音を気軽に学ぼうというアプリ  |
| 対象者      | 中級  | A1、高校1・2年生  | A1(ゼロ初級)   | 実践大学、高雄大学 A1(入門)   | ホテル学科、病院学科などの学生向けの日本語授業  | 30時間の学習を終えた学習者  | A1初心者                                    | 入門の学生   |
| 学習目標     | 男性ことば、女性ことばの使い分け、学校文化   | ①あいさつ表現<br>②家族の呼び方  | ①音と形の一致<br>②音声化できる   | ①趣味について話す<br>②休みの日について話す   | 日本の生活様式、文化について理解する   | ①自分の趣味が言える<br>②趣味の語彙を使える<br>③基本文型が使える   | ひらがな・カタカナを覚える。                           | 50音が上達すること  |
| 学習の流れ    | ①日本語には男女のことばの違いがあることを伝える<br>②動画を見せる<br>③動画の例に従って発話する<br>④例を挙げてから例文を作る<br>例:「あぶねーあぶねー」が「あぶない」から変化したことを伝え、他の例を取り上げる「知らない」→「しらねー」など終助詞の使い方「ぞ」と「よ」の違いなど | ①音声を聞かせて、マンガを見せる。<br>②あいさつの表現「いただきます、ごちそうさまでした」、家族の呼び方「お姉ちゃん、お母さん」などについて、気づかせ、先生が説明する。<br>③グループで役割分担し、宿題にする。放課後にグループで練習してくる。<br>④次回の授業で場面に合わせたアフレコのように発表する。 | ①反転授業的にここ(例:あーか行)をやるよと予告する。学習者はかなコースかアプリで予習してくる。<br>②クラスで教師が認識できているかどうか確認する(定着度合いで適宜再導入)。コースやアプリにない手書きで書く練習をする。<br>③eラーニング教材で練習する(グループ、またはペアワークで競い合っ)<br>④家で復習と次回の予習をする。(①-④を50音の終了まで繰り返す)<br>⑤最後に復習をする。例えば、単語レベルでのペア練習をする(S1「うみ」と読む S2「うみ」と書く)<br>⑥小テストでディクテーションをする。自己評価する。 | ①学生の趣味について聞く<br>②「春と夏のイベント、秋と冬のイベント」の画像を見せる<br>③趣味についての表現を確認、練習し、学習者同士で会話する<br>④休みの日の活動についての表現を確認、練習し、学習者同士で会話する | ・「ひろがる」で魚やスイーツなどトピックに関連してどんなことばがあるのか確認する<br>・「食べる」ことに興味を持ったら、関連する「まるごと」の課で会話の練習をする<br>・「まるごと」A1-1で自己紹介の表現を学び、練習する<br>・50音は学習済みという前提で、アプリを紹介し、クイズで練習する。 | ①趣味の語彙を予習する<br>②コースサイトの音声を聞いて、練習する。<br>③初めての人に合う場面で、クラスメート同士で自己紹介をする(趣味も含め)。人の自己紹介をさく。<br>④自分の趣味に合う人を見つける | ①ひらがな・カタカナをイラストで学ぶ。<br>②クイズやゲームを通して練習する。 | ①学生に対して教師が教える。日本語の文字の仕組みについて教える。<br>②宿題として「50音を気軽に学ぼう」を使う。<br>③次の授業で小テストを行うことを予告する。(自律性に任せるとやってこないことを予防するために)<br>④小テストで学習成果を確認する。<br>＜話したこと＞<br>・スマートフォンで本当に動かない不安が残る。<br>・問題集のサイトだとPCを持っていない学生が困るが、事務室のPCでやってきてもいいのであれば可能か |